

## 20 歌物語作家になろう ～短歌学習～

本単元は、短歌を物語に書き換える学習を行うことにより、日本独自の言語文化としての短歌に親しみ、それを読んで解釈する力を付け、また解釈した内容を物語の形式に広げて表現する力を養う。

第一次では、短歌を自分の経験に照らしながら想像豊かに解釈させることをねらう。またそれをもとにテーマの明確な歌物語を創作する段階では、豊かな理解を言葉で表現する力を育成する。俵万智の短歌を使って題材を与えることで文章を書きやすくするとともに、学習の意欲化をはかることができる。

物語という表現形式は、虚構性があり、生徒にとって親しみやすく、比較的表現しやすい形式であるため、書くことが苦手な生徒でも取り組みやすいと考えられる。

1 領域 書くこと・読むこと

2 教材 『サラダ記念日』俵万智著・河出書房新社・1987

3 目標

- ・短歌を物語世界にふくらませて歌物語集を作ることにより、短歌を想像豊かに読む力や、想像したことを豊かに表現する力を付ける。
- ・短歌という言語文化に親しむ。

4 指導時間：4時間

5 指導形態：第一次・二次は取り出し指導、第三次は在籍学級での一斉指導

6 指導事項 ・言語スキル

領域	指導事項	言語スキル
書くこと	<b>【構成】</b> ・文章の形態に応じて適切な構成を工夫する。 ・歌物語を書く。	・段落の設け方を工夫することができる。 ・起承転結などの構成パターンを活用することができる。 ・書き出しを工夫して書くことができる。
読むこと	<b>【内容把握や要約】</b> ・文章の展開に即して内容をとらえる。 <b>【構成や展開】</b> ・文章の構成や展開を正確にとらえる。	・短歌を読んで解釈することができる。 ・短歌の構成を理解することができる。

言語事項	<p><b>【音声】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読む速度や音量、言葉の調子や間のとり方などに注意する。</li> </ul> <p><b>【語句】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心情を表す語句の意味や用法に注意する。</li> </ul> <p><b>【話や文章、文】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の役割や文と文との接続関係などを考える。</li> <li>・相手や目的に応じて文章の形態や展開に違いがあることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読してリズムをつかむことができる。</li> <li>・言葉の調子や間のとり方を意識して読むことができる。</li> <li>・心情を表す語句を用いることができる。</li> <li>・段落を意識して書くことができる。</li> <li>・歌物語の形式を知り、そのよさを活かすことができる。</li> </ul>
------	---	---

## 7 指導計画

	学習活動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
1 次  1 時 間	<p>○物語の要素を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サラダ記念日（俵万智 著・河出書房新社・1987）」を読み、物語になりそうだと思う短歌を一首選ぶ。</li> <li>・物語の要素を考えながら状況設定をする（場所・状況など）。</li> <li>・登場人物を決める（人数・性別・年齢・性格・心理状態・関係等）。</li> <li>・出来事・事件を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読することができる。</li> <li>・短歌のリズムをつかむことができる。</li> <li>・短歌に描かれている世界を想像することができる。</li> <li>・短歌を具体的な物語世界にふくらませることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★短歌の基礎事項を説明する。</li> <li>★繰り返し音読させることでリズムをつかませる。</li> <li>★経験を生かしながら自由に楽しく想像させる。</li> <li>★要素を一つ一つ丁寧に設定させることで文章化がスムーズに行えるようにする。</li> <li>★必要に応じてワークシートにルビを振る。</li> </ul>
2 次  2 時 間	<p>○物語を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語のテーマを考える。</li> <li>・構成メモを作る。</li> <li>・歌物語を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像に基づいてテーマを設定することができる。</li> <li>・物語の展開が理解できる。</li> <li>・物語の要素を組み合わせる文章化していくことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★盛り込む内容の整理</li> <li>★表現方法の工夫</li> <li>★起承転結を意識させる。</li> <li>★心情を表す語句を国語事典や類語辞典を活用して調べ、使わせる。</li> </ul>

<p>3 次 1 時 間</p>	<p>○完成した歌物語を読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が書いた歌物語を読み、「物語のテーマ」と「感想」（感動したところ・気に入った表現・発見など）を書く。</li> <li>・友達の感想から学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が書いた歌物語を読み味わうことができる。</li> <li>・様々な文章に触れることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★在籍学級に戻して仲間と作品を読み合い、表現や解釈の多様性について学び合わせる。</li> <li>・自由に感想を書かせる。</li> <li>・友達からコメントをもらうようにする。</li> </ul>
----------------------------------	--	--	---

★「短歌」を「物語世界」にふくらませて「歌物語集」を作る。  
～「歌物語作家」になろう～

俵万智さんの短歌のなかから一首選び、想像をふくらませながら歌物語を書いてみよう。

○物語になりそうだった短歌を一首選ぼう。

○状況設定をしよう。

・場所・状況

・登場人物（人数・性別・年齢・性格・心理状態・関係など）

・出来事・事件

○想像をふくらませて「歌物語」にしよう。

「物語のテーマ」（主題）をはっきりさせて書く。

- ・ 三人称の視点から書く。（例・洋子は、彼女は、隆は、彼は、・・・）
- ・ 描写（心理描写・風景描写）を入れて、登場人物の気持ちを表現する。
- ・ 途中（初めや最後も可）に歌を入れる。
- ・ 構成を意識する。（起承転結を取り入れるなどの工夫をする）

○「物語のテーマ」を考えよう。

○構成メモを作ろう。

★「歌物語」の感想を読み合おう。

自分が作った「歌物語」に対する感想を書いてもらおう。  
友達の感想から学ぼう。

作者・・・

○「歌物語」を読んで、コメントを書こう。

読者	この物語のテーマ	感想（感動したところ・気に入った表現・発見など）

○友達の感想を読んで学んだことを書こう。

--